



学校だより

5月号

横浜市立大道小学校
令和4年4月28日



← 学校 WEB ページはこちらから

校長 加藤 和之

「パワー」

初夏を思わせる明るい日差しの中、大道小では、今年も元気に「こいのぼり」が泳いでいます。その様子は、明るく真っ直ぐで活動的な、「大道っ子」の姿と重なります。ですから、毎年の「こいのぼり」は、私が大好きな大道小の「風物詩」の一つになっています。

新年度が始まって約3週間が経ちました。子どもたちにとっては、期待と少しの不安が混じる4月のスタートだったと思いますが、新しい学年、学級で頑張ろうと、元気に毎日の生活を送っている様子がうかがえます。子どもたち一人ひとりが、校庭に泳ぐ「こいのぼり」のように、自分らしくのびのびと学校生活を送ってほしいと思います。



「大道っ子」の仲間入りをした51名の1年ですが、徐々に小学校での生活に慣れてきたようです。21日には、児童会主催の「1年生を迎える会」が行われ、今年度初めて全校児童が校庭に集まりました。それを見ていて浮かんだ言葉が、「家族」です。兄姉にあたる上級生が、弟妹にあたる下級生を思いやり、弟妹が兄姉の姿にあこがれる。そして父母にあたる職員が、それを温かく時には厳しく見守る。そんな「家族」のような学校にしたいものだと思います。「家族」の「末っ子」にあたる1年生ですが、とても素晴らしいことがあります。登校時に出迎えると、「おはようございます!」と、明るく気持ちの良い「挨拶」をすることができます。「挨拶」という漢字には、人の心の扉を押し、その中に入っていき、つながるといった意味があるようです。「挨拶」で、たくさんの人がつながり、「家族」の絆をますます強いものにしてほしいと思います。

「児童会テーマ」を「Love&Happy 運営委員会」が中心となって考え、先日の朝会で発表しました。テーマは、ずばり「**パワー**」です。何だか、力がみなぎってくるような気がします。この中には、三つの「パワー」があるということです。それは、「なかよく協力するパワー」「元気よく楽しくできるパワー」「全力で取り組むパワー」です。この「コンセプト」通りに、みんなで力を合わせ、元気よく楽しみ、そして全力で取り組む...。子どもたち一人ひとりの「パワー」が結集することで、予想以上に大きな成果が出るかもしれません。今年の児童会活動が楽しみです。

委員会では、「大道小をよりよい学校にするために。」ということで、このテーマを決めたそうです。子どもたちが、自分たちの学校を自分たちの力で良くしていこうと考えているので、私も嬉しくなりました。私たち教職員も、子どもたちが考えた「テーマ」を大切に、同じ気持ちで児童会活動の指導・支援をしていきたいと思っています。(1年生を迎える会・テーマ発表については、中面をご覧ください。)